


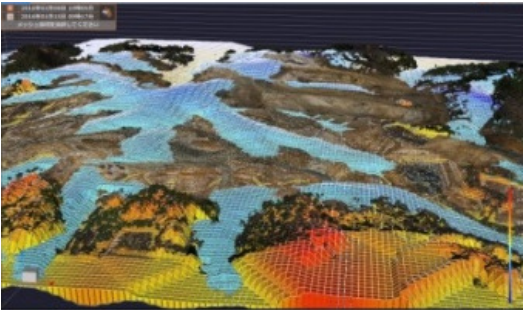
# i-ConおよびICT施工事例

1枚に1技術を目安に記載願います

JCMA機電i-Con現場WG

発行No  
S-40

<b>■ 技術名称</b>	
UAVによる空中写真測量	
<b>■ 基本情報</b>	
会社名	
工事名 (発注者)	
活用工事分類	発注者指定 / 施工者希望Ⅰ型 / 施工者希望Ⅱ型 / 活用工事以外 (技術提案 / 創意工夫 / <u>その他</u> )
工種 (大項目)	ダム / トンネル / シールド / <u>造成</u> / 舗装 / 橋梁 / 構造物 / その他 ( )
工種 (小項目)	掘削
ICT技術分類	①3D起工測量 ②3D設計データ ③ICT建機 ④3D出来形管理 ⑤3Dデータ納品 <u>⑥その他</u> ( 出来高・進捗管理 )
<b>■ 実施内容詳細</b>	
対象数量	造成面積38.8ha
実施回数・台数	ドローン測量：4回
実施期間	2014年12月～2017年3月 (実働計12ヶ月)
施工段階での課題と解決方法 (1)	発生した課題：38haの敷地造成において、GNSS測量では20mピッチの概略的な造成状況しか把握できなかった。 解決方法：UAV測量による進捗管理では、出来高状況をヒートマップにより比較でき、盛切箇所の把握が容易になった。
施工段階での課題と解決方法 (2)	発生した課題：SQCDEのどんな内容でも構いません 解決方法：途中段階や、解決できなかった場合でも、意見・案などあればお書き下さい
施工段階での課題と解決方法 (3)	発生した課題：SQCDEのどんな内容でも構いません 解決方法：途中段階や、解決できなかった場合でも、意見・案などあればお書き下さい

作成者氏名	
連絡先(アドレス)	
<b>■ 参考図・写真</b>	
 <p>空中写真測量に使用したUAV</p>	
 <p>造成全体の盛土・切土の進捗状況</p>	
<b>■ 感想・要望事項</b>	
進行方向のラップ率を80%で飛行した場合、1フライト当たり約5分飛行時間を短縮可能なため、ラップ率の規定を80%に緩和頂ければ、38ha等の広範囲の測量現場でより普及すると思われます。	